

NACS-J 自然観察指導員講習会

三嶋 秀恒（松戸市）

開催日：2023年10月21日（土）～22日（日）

場 所：千葉県立手賀の丘青少年自然の家（柏市）

開 催：公財）日本自然保護協会(NACS-J)、千葉県自然観察指導員協議会、千葉県

参加者：受講生 74 名、講師・スタッフ 14 名(NACS-J 4 名、協議会 10 名)

講習会のプログラム

10月21日（土）	10月22日（日）
野外実習①森を通して自然のしくみを見にいこう	早朝オプション観察会
講義①生物多様性の保全と私たちの暮らし	野外実習②こんなテーマで自然を観察しよう
自己紹介・協議会・東葛の紹介	野外実習③自然観察会の下見から展開を考えよう
講義②自然観察会と指導員の役割	野外実習④実際に自然観察会をやってみよう
情報交換会	閉校式・写真撮影

以前は2泊3日でしたが、働く世代や学生の指導員を増やそうという趣旨で1泊2日に短縮される中、日数が減っても極力中身を維持しようということで、早朝から深夜までスケジュールがぎっしりの講習会でした。今回はさらに宿泊ナシで18時30分のバスで帰り、翌朝北柏駅7時30分のバスで手賀の丘に向うハードスケジュールのため、早朝のオプション観察会に参加できない方もありました。観察会は手賀沼方面に向かって谷津田の景観を楽しんでもらいましたが、時間短縮のため急ぎ足の観察会になってしまいました。

参加者は、募集定員を超過の74名を受入れ、千葉県在住者が62.2%（46人）、男性・女性比率が同数。講義や野外実習は、NACS-J講師が主体となって実施され、野外実習では協議会の佐野由輝さんが代表講師を務められました。協議会の指導員10名はアシスタントとして、野外実習時の補助、早朝オプション観察会のガイド、書籍販売・情報交換会手配を含む運営事務全般を担当しました。

2日間の中身を濃縮された講座で、全員新指導員になれ皆さんが満足そうに会場を後にされたことで、私たちも豊かな気持ちになることができました。協議会には22名の方が新規加入、東葛しぜん観察会には16名が入会され、新しい仲間が増えました。

